

# 日米医学医療交流財団 医学部夏期集中医学英語研修プログラム助成

## 研修報告書 ( 2014年度 助成者)

作成日 2014年 8月 22日

氏名	前谷 知毅 (まえたにともき)
研修先機関名	<u>Hawaii Tokai International College</u>
研修期間	2014年8月13日 (水) ~ 8月20日 (水)
大学名 学年	京都大学 5年生

今回アメリカで医学と英語の研修をするというまたとない機会をいただき、夢のような1週間を過ごすことが出来ました。医学英語が中心なのは当然ですが、その他の点でも得るものがとても大きかったと感じています。

研修で特に充実していたのは8/14, 8/15, 8/18に行われた **Clinical Practice** のセッションです。ハワイ大学医学部の学生を相手に医療面接を行い、その内容を指導教官の先生にプレゼンテーションを行いました。私は **USMLE First Aid Step2 CS** などである程度質問フレーズを予習していたのですが、初めは面接もぎこちなく、プレゼンテーションでは先生方から様々なご指導をいただきました。しかし毎晩問診やプレゼンテーションの練習を行い、部屋に帰ってから復習するということを繰り返すうちに最終日には結構自信を持てるようになりました。ハワイ大学医学部の学生は、知識はもちろんですが人間的にもずいぶん大人でゆとりがあると感じ、彼らと交流出来た事も財産の一つです。

また、それ以外にも様々な英語の授業がありました。 **Medical Ethics** では同級生と英語で議論を行うことを学び、 **Medical English** や **English Communication** で自分の英語力を向上させるとともに新たな考え方も得られました。さらに期間中にホノルルにある病院を3箇所も見学させていただいて、人生で初めてアメリカの病院に入ることが出来たのも良い経験になりました。また太平洋戦争を中心に歴史を学べたのも素晴らしいプログラムでした。真珠湾を見学して日米の歴史について先生方や同級生と深い議論もできました。

また他の大学の先生方、学生と出会い、お互いの人生観や将来像について語り合えたということは、講義と同等かそれ以上に貴重な経験でした。自分の大学以外の学生・先生と接することは、部活動以外でほとんどありませんでした。しかし、この1週間皆さんと寝食や研修を共にし、今まで知らなかった世界に触れることができたと感じています。特に東海大学の学士編入の方々は豊かな人生経験と高いモチベーションを持っており、学ぶべきところが数多くありました。また先生方は、日本から参加された方も現地で指導にあたっておられる方も、学生指導に熱心で、フレンドリーでした。そうした先生方にご指導いただき、また講義以外でも親しく接していただき暖かみのある貴重なお話を伺うこともでき、感謝しています。

私自身、今まで狭い世界にいたことを痛感し、自分自身を見つめなおす良い機会になったと思います。これからもっと色々な人と接し経験を積むことで自分を高め、自分はどこで何をしたいのかよく考えるべきだと気づけたのは、このプログラムのおかげであると感じています。

最後に、このプログラムを企画して下さった東海大学・神戸大学の先生方、ハワイでお世話になった方々、このプログラムに対して助成をしていただいた日米医学医療交流財団の方々に御礼を申し上げたいと思います。本当に有難うございました。